



平成 30 年 11 月 15 日

各 位

株式会社 R V H
代表取締役社長 沼田 英也
(東証二部・コード 6786)
問合せ先 管理部 IR・広報室
電話 (03-4579-9755)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 15 日付にて公表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
当初発表予想(A) (平成 30 年 5 月 15 日)	百万円 58,300	百万円 2,140	百万円 2,130	百万円 760	円 銭 39.32
今回修正予想(B)	57,290	255	265	△711	△36.78
増減額(B-A)	△1,010	△1,884	△1,864	△1,471	—
増減率(%)	△1.7	△88.0	△87.5	△193.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	53,006	737	912	317	18.54

(注) 平成 30 年 11 月 14 日付にて公表いたしました「特別損失(貸倒引当金繰入額)の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて一旦未定とさせていただきます通期連結業績予想について、上記のとおり修正いたしました。増減額及び増減率は平成 30 年 5 月 15 日の公表数値との比較を表示しております。

修正の理由

売上高については、レディスサービス事業における新規顧客獲得のため、積極的な広告宣伝投資を実施したことにより、顧客契約の獲得及び商品売上高は前年同期比で大幅に伸長したものの、商品売上高が当初予想からは約 304 百万円下回る見通しとなりました。また、施術売上高及び特典付き会員制度の入会金売上高については当初期待した伸びに至らず、当初予想より緩やかな増加推移となる見込みであることから、約 708 百万円減少する見通しとなりました。

費用面では、下期は広告出稿量の抑制を行う方針ではありますが、通期では広告宣伝費(約 407 百万円増)及びサロンスタッフの採用強化施策による従業員募集費及び新人スタッフ、研修スタッフの労務費等(約 399 百万円増)、その他費用を含め費用全体では当初予想より約 872 百万円増加する見通しとなりました。

上記の売上高減少による利益への影響約 902 百万円及び費用増加に加えて、本日公表の「連結子会社の異動(子会社株式の譲渡)に関するお知らせ」のとおり、当社連結子会社である株式会社リーガルビジョンの全株式譲渡に伴い同社及び同社の子会社であるキャリアエージェンシー株式会社並びに株式会社東京ハウスパートナーの連結除外の影響による営業利益約 110 百万円の減少が見込まれること等から、営業利益及び経常利益については、当初予想を下回る見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の要因に加えて、平成 30 年 11 月 14 日公表の「特別損失(貸倒引当金繰入額)の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、株式会社ラブリークィーンにおいて貸倒引当金繰入額 405 百万円を特別損失として計上した影響及び税効果の影響を考慮した結果、当初予想を 1,471 百万円下回る見通しとなりました。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上